

2020 年度 事業報告書

特定非営利活動法人コスファ COSFA

1 事業の成果

4月、新型コロナウイルス感染症の拡大にともなって発出された緊急事態宣言で、「ちいきのまちづくり拠点」「情報発信のチャレンジスペース」としての利用はゼロとなったが、解除後6月から12月中旬まで慎重かつ丁寧な対策・対応を行い、従来からの定期利用は実施できた。その後の緊急事態宣言では、再度利用中止に陥った。利用の中断を通して、高齢者における居場所の重要性を痛感した。

各事業体は業種によりリモートワークなど営業スタイルを模索、一時預かり保育や配食サービスのエッセンシャルワークは覚悟と勇気を持って継続した。

運営については、東京ボランティア協会・さわやか財団からの助成金と通信で寄付金を募ることで何とか、乗り切ることが出来た。助成金獲得は今まで継続してきた活動に対する評価と考えているが、次年度の対策は今年度以上に大変である。

2 事業の実施に関する事項

東日本大震災以降、木密地域に立地することから、主として火災を念頭に検討してきた COS 下北沢を中心とした「防災マップ」が完成した。地域への啓発活動や、利用者及び事業者による活用をもくろんだが、コロナ禍のため有効活用は出来なかった。貴重な財産として、今後も活用方法を考えていきたい。

世田谷区の「食の支援サポーター派遣事業」や、「子ワーキングスペース」については、検討することはできなかったが、コロナ禍を経験して、NPO 法人の健全運営のためにも、COS 下北沢が持っている機能（カフェスペースなど）をより有効に活用する必要を認識した。今までのネットワークの活用や新たな視点で利用者の開拓が必要である。

(1) 特定非営利活動に係る事業

(事業費の総費用【 7,247 】千円)

定款に記載された事業名	事業内容	日時	場所	従事者人数	受益対象者範囲	受益対象者人数	事業費(千円)
コーディネート事業	「COS（コーポラティブスペース）下北沢」の円滑な運営と管理	4月～3月	北沢2丁目他	10名	COS 下北沢事業団体	50名程度	6,697
相談事業	地域を豊かで暮らしやすいスペース「コーポラティブスペース」の創出相談対応体制の準備	4月～3月	北沢2丁目他	3名	世田谷区 その他の市民（主に見学対	3名程度	0
地域住民交流事業	イベントの実施、日常的な居場所として	4月～3月	北沢2丁目他	3名	世田谷区内外	延べ400名程度	357
まちづくりを推進するための情報提供事業	広報誌の発行 防災マップ作製 ホームページの充実	年一回発行 随時	北沢2丁目他	5名程度	世田谷区内外 1000部 1000部	不特定多数	192
調査研究事業	研修・講演会	年度内	世田谷区	0名	世田谷区 その他の市民	0名	0